

2023Season

第1回



大会報告書



ゴール
ドッジ

2023年7月14日

日本ドッジビー協会

【大会概要】

名称： 2023シーズン ゴールドタッチ大会 第1戦
日時： 2023年6月24日（土曜日） 13:00～17:00
場所： MIFA Football Park 江東区豊洲6-1-23
主催： 一般社団法人日本ドッチビー協会（DBJA）
協賛： 文化シャッター株式会社/株式会社ミカサ
ワタミ株式会社/株式会社クラブジュニア

【募集要項】

- ・MI X 6チーム ※応募多数の場合、受付先着(fdsys での申込み)順。
- ・1チームの構成人数は5名以上として上限は設けない。
- ・MI Xチームの構成要件
〔チームに女性および中学1年生以下〕の選手が複数名、所属すること。
e x) 女性×2/女性×1+小学5年×1/小学6年×1+中学1年×1など

【参加チーム一覧】

チーム名称	(代表者拠点)	主構成	人数
・チャレンジファイターズC	(荒川区)	小学生	8
・チャレンジファイターズF	(荒川区)	小学生	7
・M. D. Cウィル	(武蔵野市)	クラブ	7
・NONAME	(横浜市)	社会人クラブ	8
・style	(川崎市)	社会人クラブ	12
・TEA	(文京区)	大学生	8

◆合計チーム数 : 6チーム ◆参加選手総数 : 50名

◆観戦・引率保護者数 : 約30名

▲大会関係者総数 : 12名

大会関係者 総合計 約90名

【参加費用】

ひとりあたり一律、1,820円（税／傷害保険込み／年齢による差はありません）

※お支払手数料(システム利用料)180円/人があり、支払合計は@2,000円

【競技方法】

<対戦形式> 【予選】 = 2リーグが3チームの総当り対戦、勝ち点制で順位を決定。
全6チームを主催者が過去実績や属性・地域などを考慮して3チームの二つのリーグに振り分けた。

【順位決定】 = 予選リーグの同順位同士が順位を決定戦をおこなう。

<試合人数> 全試合 5人 vs 5人(Mix要件の選手が常に1名フィールドにいる)

<試合時間> 7分の前・後半。ハーフタイムは60秒。引き分けあり勝点制
決勝戦のみ=10分の前・後半。ハーフタイムは120秒。同点は延長戦

【大会スケジュール・結果成績】

詳細は別紙、[スケジュール表]をご参照ください。

全試合の結果は別紙、対戦結果表を参照ください。

【表彰】

- ・優勝／準優勝チームには表彰状と副賞としてNEW公式ディスクを贈呈。



- ・参加賞としてワタミお食事500円券、ワタミ割引券、クラブジュニアS o x 贈呈



【講評】

2023年6月24日(土曜日)、梅雨時期で天候を心配しましたが雨が降ることなく、お馴染みの会場とも言えるMIFA Football Park 豊洲のCコートにおいて新年度、初の主催大会として2023シーズン第1回ゴールドッチ大会をおこないました。



5月に新型コロナウイルスの対応が大きく緩和されたことを受けてこの大会では消毒液設置等、最小限の準備をしつつ、下記のように告知のうえ募集しました。

【大会の事前】

- 実施日2週間前より検温 → 廃止します。
- 代表者が参加者連絡先の管理・保管 → 廃止します。

【大会終了後】

万が一、当日の来場者に感染が発生した場合、主催者への状況報告→廃止します。

【大会の当日】

- 保護者および選手以外の観戦来場 → 特に制限いたしません。

※マスクの着用については基本的に個人の判断に委ねますが

- フィールドでのプレー中のマスク着用は主催者としては推奨しません。
- フィールドに立つ主審・副審はマスクの着用はいたしません。
- スタッフにおける着用は個人の判断に委ねますので、あらかじめご了承ください。

◎発熱・咳・咽頭痛など体調がよくない方

- 選手にかかわらず参加をお控えください。

さらに、この大会はいろいろな意味で初めてのことばかりの大会でした。

- ① 公式ディスクがリニューアルされて、初となる主催の大会。
- ② 公式ルールの変更後、初となる主催の大会。
- ③ 協会役員の役割(人事)変更後、初となる主催大会。



ディスクについてはメーカーである(株)ミカサより物品協賛をいただき、特に支障はなく、参加者からも特に不都合は聞こえませんでした。②のルールについては大きな変更があり、審判に従事するスタッフにとっても初の体験であり、審判のすべき作業が増大したことは間違いなく、事前に十分に学習はしたつもりだが実際は相当に難しく感じるとの意見が終了後の反省でも多く聞かれました。

結果として今まで気にかけていたことが疎かになってしまい、後日、接触に関しての判断基準が変わったのか？との指摘を参加者様より受けるなど反省すべき点が多々、ありました。

④ 大会当日、3つのイベントに対応。という重複が起きました。

新型コロナからの脱却が目に見える形で現れたといえるのかもしれないが、過去に例がなく午前講習があり、午後にはこの主催大会をおこなって、終了後、場所を移動して夜間の自由参加練習会と10時から22時までのフル稼働状態の1日となりました。

それら競技にまつわる事項だけではなく、事務的側面でも初となる大きな事項があり、

⑤ 日本ドッジビー協会への会員(無料)登録を出場の条件とした初の大会。

⑥ チームエントリー／メンバー登録／参加料支払いの全てをNetシステムで完結させた。

fdsys というNetシステムでの申込みを初めて導入。これは長い目でみると時代に則した必要事項であると思っ導入を決めたことですが、このタイミングは避けた方がよかったですのではないかと思ったりもして…チーム代表の方にはご協力をいただきましたこと、感謝いたします。本当にありがとうございました。



【申込み方法】

1. fdsys にて当イベントを検索し、チームエントリーをお願いします。
チームエントリー(先着順) 5月22日(月)～ 6月4日(日)まで
2. 出場チーム確定後、チーム管理者が代表してメンバーエントリーをお願いします。
メンバーエントリー&決済 6月 5日(月)～ 6月18日(日)まで

【支払い方法】

3. チーム管理者が代表して決済をお願いします。
fdsys 上で「クレジットカード払い」もしくは「コンビニ払い」を選択できます。



6チームを上記の手順で募集しました結果、5/22の7:20には6枠がアツという間に埋まってしまい、Netシステムでは埋まった旨の説明はなく7番目受けず、受付日の深夜にメール問い合わせの連絡をもらうなど、参加チーム関係者も、スタッフにも負荷が生じたことは否めず、急激な変更を一挙におこなったことから運営上の反省すべき点が多い大会でした。



さて一方、フィールドの様をお伝えすると小学生中心の2チームの活躍が目立ちました。大人を相手にチームFは1勝を挙げ、チームCもどちらが勝つか、最後までわからない接戦で結果、1点差で敗退はしましたが見ごたえのある試合を繰り広げていました。



全体として各チーム、名称は変わらないが肝心な中味のメンバー構成が変化している印象でした。また前年のシリーズ優勝チームは学生が中心メンバーのため今回、土曜開催の大会なので参加ができずとの話があり、開催曜日も顧慮する要素として認識しました。



- ◇「個人ゴール賞」とは⇒オフェンス時のゴール数
- ❖ シュートを決めた数
- ◇「個人ブロック賞」とは⇒ディフェンス時のブロック数
- ❖ キーパーがシュートを阻んだ数と
フィールドプレーヤーがパスカットならびにインターセプトした数

大会結果は質、量ともに充実したメンバー構成のstyleが初戦のチャンピオンとなりました。今回は各チーム3試合の均等な対戦数で個人／ゴール賞は11得点＝style・乙川選手が、個人／ブロック賞は13得点＝チャレンジファイトーズCの稲葉選手が、それぞれ獲得。副賞として㈱ミカサより提供の公式ディスクが贈呈されました。関係各位にご協力を頂きまして無事に大会を実施できました。ありがとうございました。

